



はじまっています！
「新しい放課後のカタチ」～放課後子ども教室～



1_机に向かって勉強に集中する児童(白一小) 2_団子をさすの楽しいね！ 斎川公民館での団子さし体験(白二小) 3_たこ焼き器でカステラを作ったよ(白一小) 4_スカーフを使って楽しく運動遊び(白一小) 5_斎川地区の名人に教えてもらった笹巻きづくり(白二小) 6_地域の方に宿題を見てもらいます(越河小) 7_お楽しみ会でのニュースポーツ「囲碁ボール」。ボールを打って並べよう(深谷小)

子どもたちの放課後の居場所

近年の核家族化や両親の共働き化が進むなか、放課後や週末、長期休業期間などに、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりが求められています。また、多様な交流・体験を通して次代を担う人材を育成するため、全国で「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の整備が進められています。本市では、子どもたちが安全安心に過ごせる放課後の居場所づくり、地域社会の中で心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、六つの「放課後児童クラブ」(※1)と四つの「放課後子ども教室」(※2)を設置し運営しています。

日中保護者が家庭にいない児童に対して、小学校や児童館での「放課後児童クラブ」で児童保育を提供する一方、すべての児童が参加できる「放課後子ども教室」では、地域の方々や運営の中心となり、小学校の空き教室などで、子どもたちの学習支援、スポーツや文化芸術などさまざまな交流・体験活動を行っています。

- ※1 白一小、白二小、大平小、福岡小、第一児童館、第二児童館
- ※2 白一小、白二小、越河小、深谷小

放課後子ども教室では、子どもたちと地域の方々が出会い、交流が生まれます。地域の方々も、子ども教室をきっかけにした交流が生まれ、普段の生活の中でも自然に見守りの目が生まれています。子ども教室を一つのきっかけにして、今の時代難しくなってきた「地域の子どものみで育てる」ことが、少しずつ復活しています。

地域のできる放課後子どもたちの居場所

越河小学校区
平成19年度から地域で運営されている越河子ども教室。開催日は低学年から高学年までたくさんの子どもたちが集まって遊んでいます。長年見守りを担ってきた地域の方々、宿題をする子の呼び掛けにいたり、一緒に遊んだりしながら、毎回楽しく過ごしています。

深谷小学校区
地域の皆さんの声から、平成28年度に開設しました。地域の皆さんが子どもたちのために協力し、ニュースポーツ体験やクリスマスお楽しみ会など、工夫した教室づくりをしています。

白石第一小学校区

「わくわく広場」の愛称で本年度開設されました。広場にやってきた子どもたちは最初一斉に机に向かい、宿題やワークに取り組みます。学習の習慣づけを目的に自主学習の時間を設定しています。みんなが集まり時間になると、いよいよ体験活動の時間。運動遊びや図書活動、囲碁・将棋・オセロ、造形などのプログラムは、スタッフである地域の皆さんの特技を生かしたものでばかり。子どもたち、スタッフのみんなが一緒に楽しく活動しています。

白石第二小学校区

昨年3月に閉校になった斎川小学校で行っていた地域の伝統行事を斎川地区の子どもたちに引き継いでいくため、また統合した白二小の子どもたちにも斎川地域のことを知ってもらおうと、3回の体験教室を斎川公民館で行いました。斎川地区の皆さんが講師となり、6月は笹巻きづくり、12月はしめ縄づくり。年明け1月には小正月の伝統行事、団子さしを開催。親子で参加した方も多く、良い体験ができたと言ってくれました。

放課後子ども教室
総括コーディネーター
さくらだかずこ
櫻田和子 さん



市内四つの子ども教室を総括し、スタッフ研修や運営のアドバイス、また白一小放課後子ども教室の運営・プログラムづくりを担当。

子どもたちのパワーはいつの時代も変わらず輝いています。しかし、遊ぶ場所や時間、見守ってくれる方々が少なくなっていると感じています。放課後子ども教室は、学校や保護者、そして地域の皆さんのご理解とご協力があってこそできる事業です。

新しい教室の形を探しながら、子どもたち一人一人が、地域の皆さんや異年齢の友達との交流・体験活動を通して、健やかに楽しく過ごせる場所にしていきたいと思います。